



緑授褒章受章記念碑

平成18年11月3日 秋の褒章に於いて緑授褒章受章の栄誉に輝く。初代会長、藤井長治郎先生の寿会発足の活動目標として取り上げた。

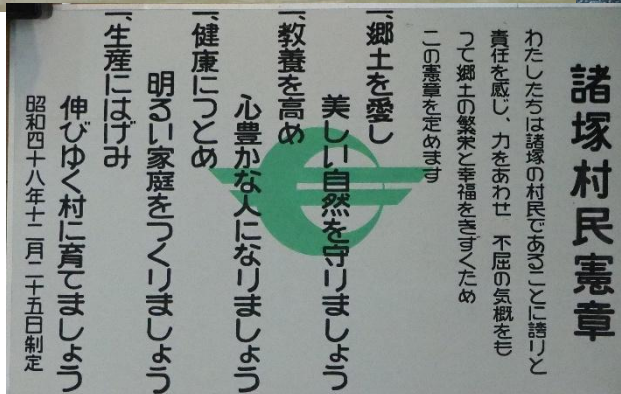
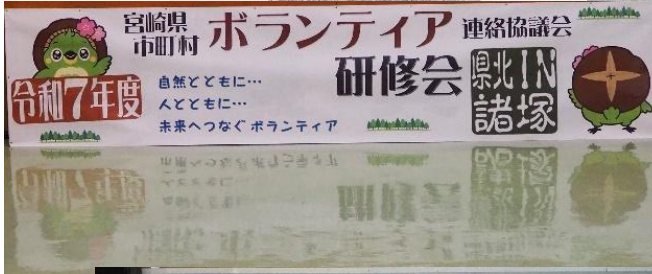
社会奉仕活動

環境美化活動(花いっぱい運動)

を歴代会長・会員の努力で継続し実行して来た成果が認められたものである。多年に亘って奉仕活動、美化活動が全村的に実行された業績が高く評価された受章であり先輩各位に対し深い敬意と感謝の念を捧げ、発足50周年を迎えるに当り、これらの歴史と伝統を更に後世に継承していく事を誓って、記念の碑を建立するものとする。

平成20年12月18日

諸塚村青会連合会



全校児童全員
10名による
ダンスを披露





【開会行事】



市野会長



藤崎村長



「ボラ連協 登録グループ紹介」

【企画①】 登録ボランティア8グループの活動紹介



これまで：平成元年 栄養学級のメンバーを養成し、「食生活改善推進協議会」として活動しており令和6年度より「食生活サポーター」に団体名を変更し活動しています。

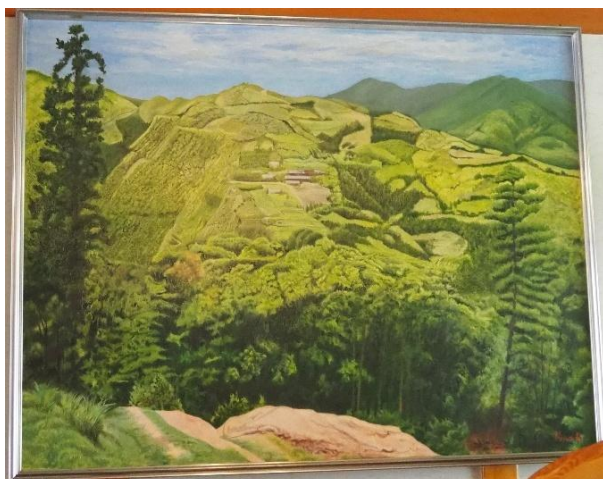




《 休憩時間も貴重な情報交換の場に ～ お茶出しにも感謝です 》



「 ロビーには絵画・労働歌の木彫りの展示 」



会場内後方に

常設展示

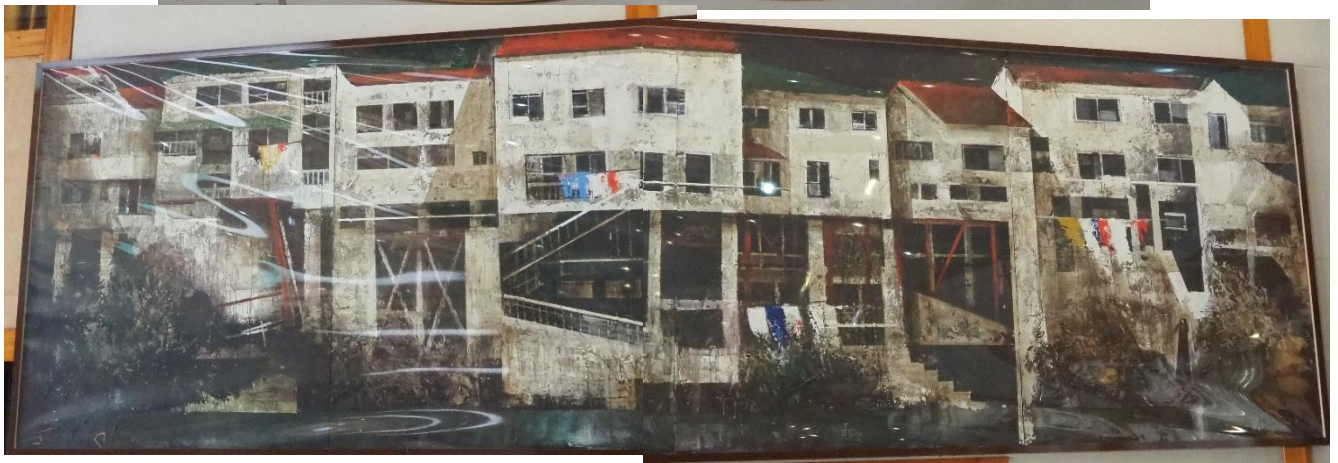
再生の街

宮崎市 大上敏男画伯

油彩2012年162×520cm

平成17年台風14号は本県を始め全国各地に大きな被害を与え、とりわけ諸塚の商店街は耳川の異常な増水により壊滅的な打撃を受けました。大上先生は諸塚に縁の深い方ですが、一昨年から、思い出に残る昔の商店街を、復活への信念、将来への展望を織り交ぜてデフォルメ、諸塚への激励の気持ちを込めて描いてくださいました。この10月に高鍋町立美術館での展覧会にも展示された大作ですが、この度、諸塚村にご寄贈いただきました。感謝を込めて皆様にご紹介します。

【プロフィール】大上先生は、1930年（昭和5年）、都農町にお生まれになり、多感な少年時代は戦時中に重なります。旧制高鍋中学（現県立高鍋高校）では故平原美夫画伯に師事、ご自身も教職に就かれました。昭和43年から47年までは七ツ山小学校の教壇に立たれ、その間、同校を版画日本一に導き、その縁で世界的な版画家・棟方志功画伯が来校するという大きな出来事もありました。棟方画伯とのエピソードや七ツ山での村人達との交流は、先生の著書「流るるまに」にちりばめられています。ご自分も日展を始め、様々な展覧会で入選、ヨーロッパへも何度も出かけ、絵の勉強を重ねておられます。県のみならず我が国画壇の重鎮の一人であり、現在日展会友でもあります。日頃から諸塚に温かい思いを注いでくださり、2012年1月の「女性の集い」では諸塚を訪れ、心温まる思い出を語り、軽妙な話術で笑いを誘い、転勤による村人達との別れの場面では会場の涙を誘いました。



《 台風被害への再生の想いで描かれた大油絵（横幅3m以上） 》

【企画②】 グループ談議



各班 熱い意見交換・情報交換が行われていました！

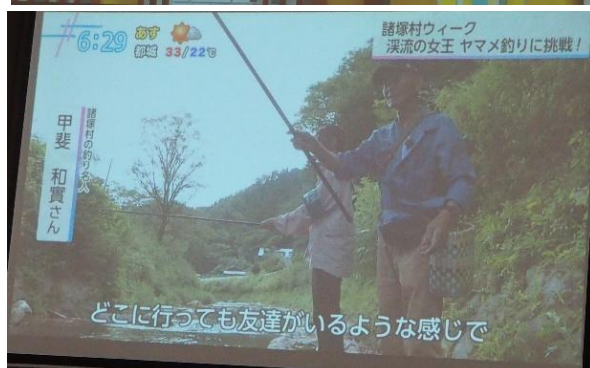
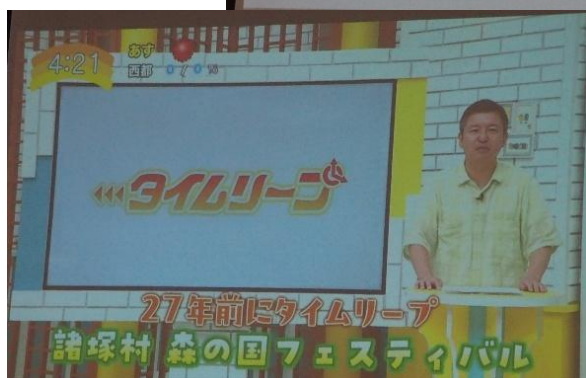
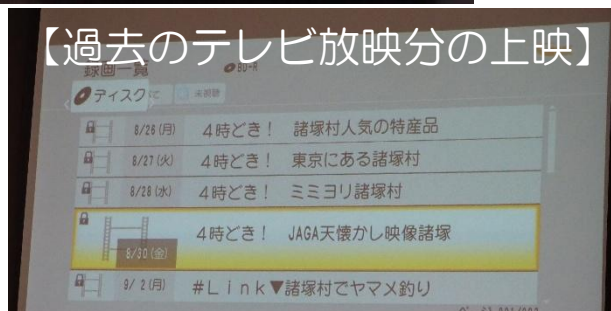


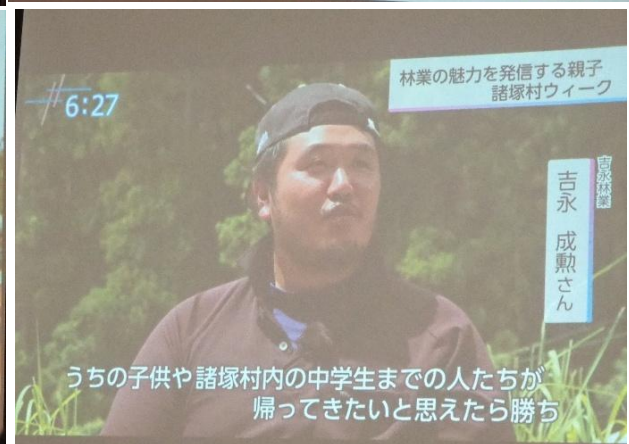
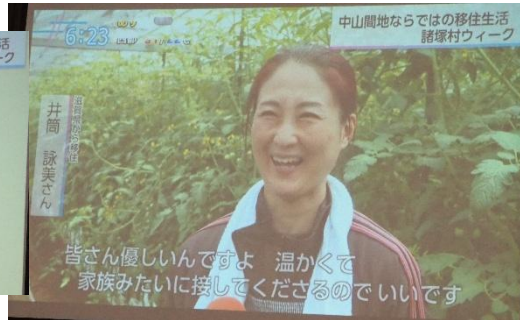
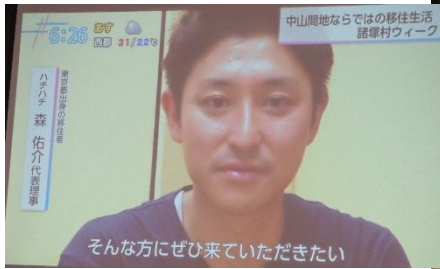
【昼食タイム】 地産地消のお弁当・お味噌汁！とても美味しかったです。「ご馳走さまでした」



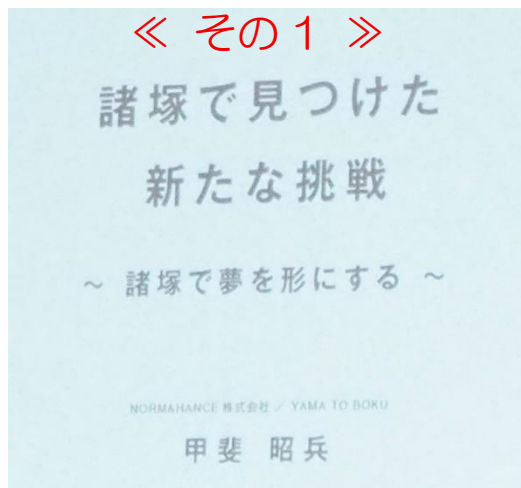
【過去のテレビ放映分の上映】

in ランチタイム





【 企画③ 】 「未来へつなぐ」村の新鋭によるプレゼンテーション

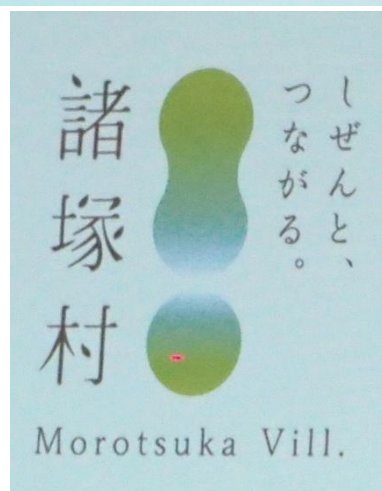


諸塚村のロゴ

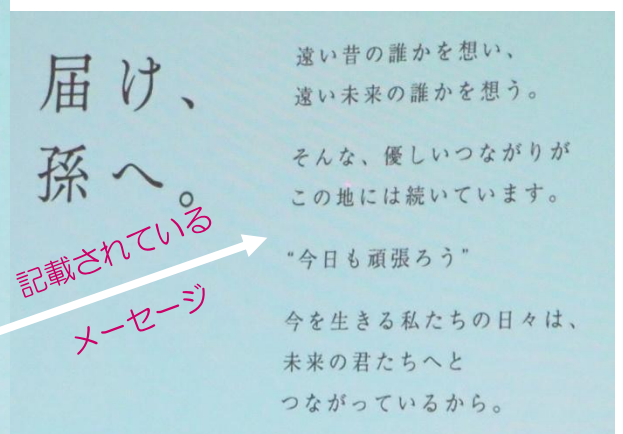
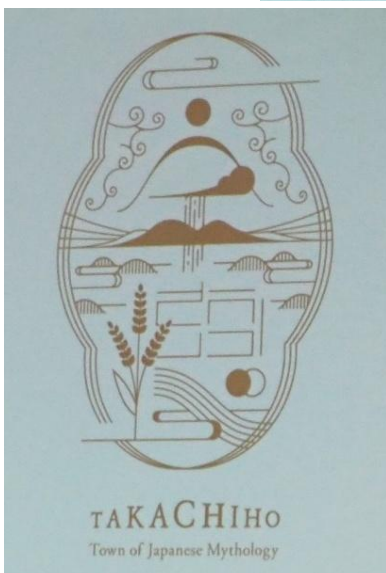
高千穂町で

採用中の

デザイン↓



諸塚しいたけ
を使用した
レトルト食品
のデザインも
NABA＝
しいたけ



諸塚で見つけた
新たな挑戦

「次世代も」

～ 夢を形にできるように ～

「次世代への

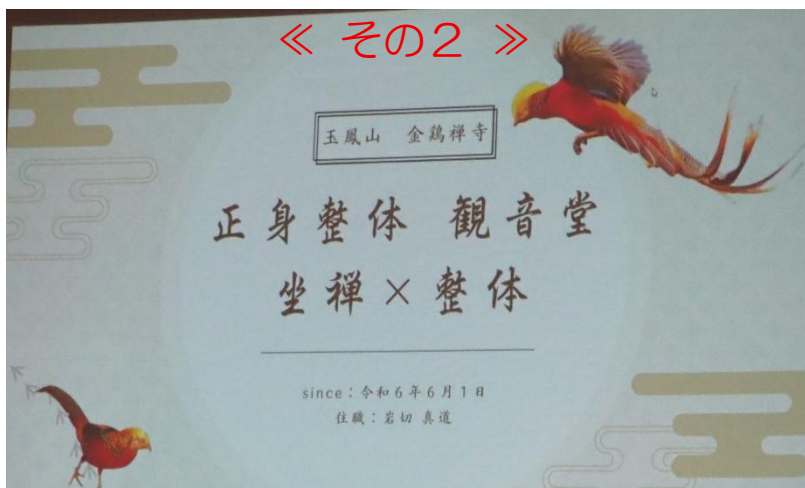
メッセージ」

前を向いて進もう。

既成概念はここに置いて、真の喜びを見つけに行こう。
今を生きる私たち一人ひとりが、心から誇れるものを。
人の数だけ彩りがある。そんな賑やかな未来をつくろう。
非常識と謳われたって構わない。すべてはそこからはじまるのだから。
その足を踏み出そう。あの人を笑顔にするために。

Norm:常識 を Enhance:改善する、
“ブランドクリエイションカンパニー” NORM&HANCE。
私たちは、不合理な常識を可能性に変換し、
合理的な非常識を創造することによって
新たなしあわせの形を探求する人々の背中を支えます。

村の新鋭によるプレゼンテーション



諸塚村 金鶏寺
正身整体 観音堂
令和6年6月1日 OPEN

初回限定コース
整体 30分
整体 40分
整体 50分
ご予約は公式LINEにて
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代4103

自己紹介

岩切 真道
平成三年生まれ、現三十四歳
諸塚村玉鳳山金鶏寺十代目住職。
駒澤大学卒業後、福井県の大本山永平寺で修行。その後神奈川県横浜市のお寺で納所をしながら整体の学校に通う。資格取得後、横浜市内の大手サロンで三年半勤務し、令和六年五月に諸塚村金鶏寺に帰山。六月一日に金鶏寺内で整体×坐禅を開始。

整体を始めたきっかけ

一鍼灸師に興味があった。
二空手道での怪我。
三坐禅の布教としての整体。
四お寺から地元を元気に。
五拠り所となるお寺へ。

坐禅の布教としての整体

カラダファクトリーの独自技術
A.P.バランス整体

カラダの土台

首 Atlas (アトラス)

頭の土台として要となるポイント

目 目

カラダの土台

骨盤 Pelvis (ペルビス)

全身の土台として要となるポイント

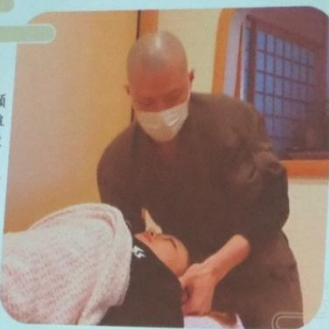
足 足 背 背 腰 腰

これら2つの土台を中心に、カラダの骨格にアプローチするものが、「A.P.バランス」整体です。



頸椎調整

頸椎は自律神経に大きく関与している。
脳から身体へと指令が伝わる時に必ず通る為、神経機能の要である。



横浜市の大手サロンで3年間経験

～某有名女優をCMに採用～

骨盤矯正

骨盤は身体を中心にある為、そこが歪むと、姿勢不良、脊柱の歪みに繋がる。すると、筋肉の使い方や内臓の働きに影響が出る。
骨盤は骨格機能の要、身体の中台である。



小顔矯正

微笑みと笑顔



● 仏足跡と足裏の反射区



調身

姿勢を調える

調心

心を調える

調息

呼吸を調える

坐禅の基本について



お寺から
地元を元気に

何故、整体×坐禅が地域おこしに繋がるのか？

● ナイチンゲールの健康

健康とは良い状態をさすだけでなく、われわれが持てる力を充分に活用できている状態をす。

(病人の看護と健康を守る看護)

● 自受用三昧

坐禅中の状態をさす禅語。

正しい自分自身を受け取り、それを使いこなす境地。

拠り所となる お寺へ

仏教は本来生きていく人の生き方の教えである。

死んでからお寺にお世話になるのではなく、生きていくうちに、お寺に来て修行し供養し、仏教を学び、

各々の人生が調い、豊かになり、本来の持てる能力を発揮できるように、

又、檀信徒以外の方でもお参りしやすいようにと、整体×坐禅を始めた。

金鶏寺に坐禅に親しみやすくなる為。



今後の展望

● 金鶏鳥(錦鳥)の飼育。

● 洗浄観音、洗浄佛足跡の建立。

● 風鈴棚、紅葉の植樹。

● 寺DEらて

● お寺のイベント強化

トークセッション 「様子の部屋」



黒柳徹子 風の

名司会ぶりに

会場は～大爆笑

(話し方・トーンは

そっくりでした)



司会者から
矢継ぎ早の
質問攻め

参加者からの質問にもこやかに回答！



来年の開催地 門川町ボウ連協 濱田会長

帰り路「秋の収穫祭」開催中の特産品販売所「もろっこはうす」



参加者も多く立ち寄り

レジは長蛇の列に!!



参加者へのお土産まで！（諸塚村全図の地図も）



豊かな自然
～山や川と
ともに～

